

2012 スーパーGT Rd,3 マレーシア 吉田広樹 〈セバンインターナショナルサーキット〉

今回はスーパーGTRd,3マレーシアにマレーシアのチームであるThunderAsiaRacingより参戦することになりました。このチームは唯一日本以外のエントラントなのですが、ホームGPであるこのレースにスポット参戦することになり、声を掛けて頂きました。昨年はこのチームでシリーズを戦っていたのですが、今年はメカニックさんもオールマレーシアとなり、チームメイトは昨年F1のテストドライバーを務めていたマレーシア人のファルーズ・ファウジー選手と組むことになりました。このサーキットを誰よりも走っていると思いますし、F1の経験や海外での経験も豊富な選手なため、沢山のことを学べるチャンスとなりました。

6月9日 フリー走行

このチームで参戦するのが確定したのがレース10日前だったため、レースウィークの火曜日から現地入りしシート合わせなどを行いました。水曜日には現地の日本領事館に招待していただき、木曜日の朝から特別にシェイクダウンさせて貰える事になりました。木曜日に走り始めてからすぐに水温が上がってしまつたトラブルが起こり、この日はちゃんと計測できたのが周ほだったのですが、最後には原因がハッキリし修復出すことができました。土曜日に入り公式テストとなったのですが、マレーシア特有の暑さの中セッションがスタートします。まずはあまりマシンに乗り慣れていないファ



ルーズ選手がNEWタイヤでアタックし、2'08,032というタイムを刻みます。そこからは徐々に周回を繰り返しながら予選に向けてのセットアップを進めて貰います。セッション後半に入り、今度は距離を走ったタイヤに交換後、私がガソリンを多く搭載しレースセッティングの確認を行いました。最後にアウト・インを繰り返してエンジンマップの確認を行い、最終的に3番手でフリー走行を終えることとなりました。

6月9日 公式予選 DRY

GT300クラス→17位/22台中

午後に入り昨年にもまして高い気温、路面温度の中公式予選がスタートしました。今回の予選方式はスーパーラップ方式だったため、まずはこの1回目の予選で10番以内に入る必要があります。そして昨年とレギュレーションが違う部分ですが、Q1は両方の選手が走る必要はなく、どちらかひとりのドライバーがタイムをたしスーパーラップではもう1人のドライバーがアタックをしなければならぬというものです。そのため今回はファルーズ選手が1回目の予選アタックを行うことになりました。予選開始とともにファルーズ選手がコースインし、アタックを開始します。しかしミスファイヤを起こしたり、マシンのバランスも良くなかったようで、中々タイムが伸びません、15分の予選を走りきったのですが、最終的に2'08,924というタイムで17番手となってしまいました。その結果

<NO.1>

2012 スーパーGT Rd,3 マレーシア 吉田広樹

〈セパンインターナショナルサーキット〉

から私は予選を走れませんでした。気持ちを切り替えファルーズ選手と話し合い、レースに向けてのセッティング変更を行いました。

決勝レース DRY リタイヤ

決勝当日は天候も良い中、フリー走行が開始されました。走り始めはマシンのバランスをチェックするため先に私が乗り込みます。しかし走り始めてすぐにシフトアップの際のシフトカットが作動しないトラブルが発生したため、そのままピットインしマシンのチェックを行います。何回かピットインを繰り返して、色々試みるのですが症状は変わらないため、一旦ファルーズ選手に交代しマシンのフィーリングをお互いに確認します。前日の予選に比べてオーバーステアだった部分も改善できたので、シフトカットの修復を行い朝のフリー走行を終えます。

午後に入りさらに気温・路面温度が上昇する中、レース前8分間のウォームアップがスタートしました。しかしそのときから水温が上がり過ぎてしまいエンジンを保護するためのリミッターが作動、通常どおり走行することが難しい状況となっていました。スタート直前までグリッドでメカさんたちに見てもらい、いよいよフォーメーションラップがスタートします。今回はファルーズ選手にスタートを担当して貰うことになりました。シグナルグリーンと同時に好スタートを決め、2周目までに3台を抜き14番手までポジションをあげることに成功し

ます。しかしそこからまたウォームアップと同じ症状が出始め、ペースが通常よりも10秒ほど遅いラップになってしまいます。それでもファルーズ選手は諦めることなく走り続けていたのですが、症状が酷くなる一方だったため17周目に緊急ピットイン。そこからもう一度メカさんにチェックしてもらい、私にドライバー交代を行います。チームとしても母国のファンの前で最後まで走らせたいという気持ちで出来る限りのことをやってもらい、再度コースインすることになりました。コースインした後は凄くバランスが良いことが確認でき追いつけが楽しみだったのですが、すぐに同じ症状が出始め、エンジンのミスファイヤも起こり始めたので2周でピットイン。エンジン内部をチェックした結果、走行は出来ないことが確認できたため、ここでリタイヤとなってしまいました。

チームのみんなで最後まで諦めずにやった結果なのではないかと思いますが、バランスが良かっただけに残念な気持ちもあります。今のところ今シーズンの残りのレースにこのチーム、メンバーでスーパーGTに参戦する予定はありませんが、またチャンスがあればこのチームでもう一度挑戦したいと思います。最後に今回のチャンスを用意して頂いたThunderAsiaの皆さん、ファルーズ選手、スポンサー様、関係者の皆様本当にありがとうございました。それでは引き続きご指導、ご支援宜しくお願い致します。

吉田 広樹

